

# 親子聖書日課

[日]主だけを見上げた時、ペトロは水の上を歩くことができましたが、強い風(苦難)ばかり見ている内に、沈みました。主は「安心しなさい。私がついている」と、現実はどうであれ、主だけを見上げなさいと言われました。必ず、向こう岸に渡れます。

[月]主に従えば、親の面倒は見なくてもよいと、正当化する言い伝えがありました。今日でも私達の生活には「昔の言い伝え」が沢山あり、惑わします。「神の言葉を無にしている」のは、自分の都合です。言い伝えではなく、御言葉に従いましょう。

[火]主は私達の信仰をテストするために、カナンの女に対するような冷たい態度を取られることがあります。しかし、へりくだってひたすら主の救いを求め続ける時、主はその誠実な信仰に応えて下さいます。いつも、諦めないで、祈り求めましょう。

[水]信仰告白は「イエスは誰か」という問いに、人の意見ではなく、自分の意見を言うことです。但し、「イエスはメシア(救い主)」と告白できるのは、聖霊の力です。この告白(岩)の上に、教会は建つのです。教会にとって信仰告白が一番大切です。

[木]良い信仰告白をしてもペトロのように、「神のことを思わず、人間のことを思って」はダメです。自己保身のみを求める者は、神の下さる永遠の命を失います。「自分を捨て、自分の十字架を背負って、主に従う」弟子の道を、生涯歩みましょう。

[金]主は弟子達にあらゆる病気を癒す権能を授けましたが、ここでは治せません。かつて持っていた信仰では役に立ちません。信仰は進行形です。生きた信仰を持つなら、「からし種一粒」ほどの小さな信仰でも、不可能なことはないのです。

[土]大きな石に躓く人はいません。ちょっとした些細な言葉や行いに躓きます。それは障害物となって、信仰から離れるきっかけを作ります。「躓きは避けられない」ものですが、人を躓かせない生き方は大切です。言葉や行いに気をつけたいです。



NO.1937 2025.11/9-15

名前

	聖書	問題	答え
日	マタイ 14:22-36	ペトロは舟から降りてどこを歩き、イエスの方へ進みましたか。	
月	15:1-20	自分の何のために、神の言葉を無にしているはいけませんか。	
火	15:21-39	婦人よ、あなたの何は立派だと、主は言われましたか。	
水	16:1-20	主はこの岩(ペトロ)の信仰告白の上に、何を建てると言われましたか。	
木	16:21-17:13	主について来たい者は何を背負って主に従うべきですか。	
金	17:14-27	もし、どれほどの信仰があれば、そのとおりになりますか。	
土	18:1-14	何をもたらす者は不幸ですか。	
感想と祈りの課題			